

題名

氏名 万人立

印

世界のエシカルブランドと中国におけるエシカル動向に関する考察

要旨

近年、企業や商品のブランドイメージに大きな影響を与える新しい要素がクローズアップされつつある。企業や商品と社会との関係すなわち企業や商品におけるソーシャル(社会的)な側面であり、その中でもとくに注目を集めているのが、企業や商品におけるエシカル(倫理的)な側面である。

これまでは、企業や商品それ自体の属性価値(内的価値)を高めることでブランドイメージを保ってきたわけだが、これからは、企業や商品と社会との関係価値(外的価値)がきわめて重要になってくる。そういう観点からすれば、社会との関係価値(外的価値)の代表といえるエシカル(倫理的)な側面がより重要性を増してくることが予想される。

エシカル(ethical)という言葉は、もともとは「倫理的」「道徳的」という意味であるが、最近では「環境保全」「生物多様性」「社会貢献」「人権尊重」「伝統文化の保全」「ライフスタイル」などの概念を含んで使われるようになりつつある。

本研究は、全6章から構成されている。そして、本研究の中核部分である「第3章 台頭する世界のエシカルブランド」においては、イギリス7ブランド、欧米8ブランド、日本6ブランドの、計21ブランドを取り上げ、考察した。以下は本研究の「目次」と「第3章」の概要である。

- 第1章 研究の目的と方法
- 第2章 世界的に注目を集めるエシカルという概念
- 第3章 台頭する世界のエシカルブランド
- 第4章 エシカルの視点からみた中国の動向
- 第5章 <脱成長>の時代に求められるエシカルの視点
- 第6章 研究の成果と考察

[3.1 イギリスにおけるエシカルブランドの動向]……取り上げた7ブランド

- ①ザ・ボディショップ/化粧品/イギリス
- ②ラッシュ/化粧品/イギリス
- ③ニールズヤードレメディーズ/化粧品/イギリス
- ④ヴィヴィアン・ウエストウッド/ファッション/イギリス
- ⑤キャサリン・ハムネット/ファッション/イギリス
- ⑥ステラ・マッカートニー/ファッション/イギリス
- ⑦マークス&スペンサー/小売業/イギリス

[3.2 欧米におけるエシカルブランドの動向]……取り上げた8ブランド

- ①パタゴニア/アウトドア/アメリカ
- ②ベン・アンド・ジェリーズ/アイスクリーム/アメリカ
- ③アヴェダ/化粧品/アメリカ
- ④トムズ・シューズ/靴/アメリカ
- ⑤ボルヴィック/飲料水/フランス
- ⑥イードウン/ファッション/アイルランド
- ⑦カルミナ・キャンパス/ファッション/イタリア
- ⑧ネスレ/飲料

題目/外国語の場合は、日本語訳を付
要旨 2,000文字程度

九州産業大学長




山本 盤男 殿

学位論文等の審査及び
最終試験・学力の結果確認報告書

d-13

平成 29 年 2 月 2 日

審査委員会

主査	職名	教授	
	氏名	池田 拓夫	
副査	職名	教授	
	氏名	井上 貢一	
副査	職名	教授	
	氏名	三枝 孝司	
副査	職名		
	氏名		印

1. 学位の種類

博士（芸術）

2. 氏名

万人立

3. 学位論文・作品の題目

世界のイシカルブランドと中国における
イシカル動向に関する考察

4. 学位論文等の審査結果の要旨

イシカルの概念の考察が、始り、世界のイシカルブランドのケーススタディが今後の展開の方向性を示した包括的な研究として高く評価される。

5. 最終試験・学力の確認の結果報告

公聴会も研究意図に沿った内容で、質疑応答にも適確に答えた。以上の観点から、合格とする。

山本 盤男 殿

平成 29 年 2 月 2 日

審査委員会

学位論文等の審査結果(詳細)

主 査 職 名

氏 名 教授
池 亀 拓 夫



本研究「世界のエシカルブランドと中国におけるエシカル動向に関する考察」において、特筆すべき点は、きわめて今日的なテーマを研究対象にしているということである。万人立が本学大学院芸術研究科（博士課程）に入学したのが2013年9月である。当時、グローバルリズムの波が世界へと広がり、ファッション業界においては、大量生産・大量消費・大量廃棄を前提としたファストファッション・ブランド（スペインのザラ、スウェーデンのH&M、アメリカのギャップ、日本のユニクロなど）が世界のファッション市場を席卷していた。

ほとんどのブランドが中国に生産拠点を置いていたが、中国での人件費の高騰にともない、各ブランドは「チャイナ・プラス・ワン」（中国の他にも生産拠点を設ける）戦略を採用した。そこで注目を集めたのが安い人件費で知られたバングラデシュ、世界中のファッション企業が新たにバングラデシュに生産拠点を設け始めた。しかし、バングラデシュの生産現場は長時間労働、児童労働、賃金未払、汚染物質による健康被害といった具合に、過酷をきわめるものであった。次第に、労働者と経営者との対立や紛争、バングラデシュの工場と欧米のファッション企業との対立や紛争が生じるようになっていた。

そんな中、世界のファッション業界を震撼させる事故が起きた。2013年4月24日午前9時前（現地時間）、バングラデシュの首都ダッカで起きた「ラナ・プラザ」崩落事故である。死者1,130人以上、負傷者2,500人という大惨事であった。このビルでは、欧米の名だたるファストファッション・ブランドの服が製造されていた。過酷な生産現場と弱体化したビルを放置したままでの操業という無責任体質、批判の目は、工場だけでなく、そこに発注していた欧米のファストファッション・ブランドにも向けられた。さらに、2015年11月、この「ラナ・プラザ」崩落事故をテーマにしたドキュメンタリー映画「ザ・トゥルー・コスト～ファストファッション真の代償」が全世界で公開され、ファッション業界の「影」の部分が白日のもとにさらされることになった。その結果、世界のファストファッション・ブランドは、サプライ・チェーンのすべての段階において全面的な見直しを迫られることになった。

こうした中で、注目を集め始めたのが、台頭し始めていたエシカルという概念であり、エシカルファッションの動きであった。エシカルとは、もともと「倫理的」「道徳的」という意味である。つまり、エシカル運動とは、ものづくりを「倫理的」「道徳的」な視点から今一度とらえ直していこうとする動きであり、その動きに最も敏感に反応していたのがファッション業界であった。

このように、「ラナ・プラザ」崩落事故（2013年4月）、そして、それをテーマにしたドキュメンタリー映画「ザ・トゥルー・コスト～ファストファッション真の代償」の全世界で公開（2015年11月）は、ファストファッション業界の流れだけでなく、世界のファッション業界の流れを大きく変えたといわれている。

山本 盤男 殿

平成 29 年 2 月 2 日

審査委員会

学位論文等の審査結果(詳細)

主 査 職 名

氏 名 教授
池 亀 拓 夫



万人立が本学大学院芸術研究科（博士課程）に入学したのが2013年9月、まさに世界のファッション業界がさまざまな批判にさらされ、次なる方向性を模索している時期であった。

万人立は、元々、ファッションビジネスに大きな関心を寄せており、入学当初の研究希望テーマは、「中国市場を対象としたメンズファッションビジネスの考察と提案」であった。しかし、世界のファッション業界が大きな転換期を迎えている中で、「末端のファッショントレンドをリサーチするのではなく、次世代に求められるメイン潮流をリサーチすべきではないか」という観点から、次世代のオルタナティブ（代替案）として注目を集めているエシカルという概念に注目、本研究のテーマ「世界のエシカルブランドと中国におけるエシカル動向に関する考察」が決定した。

本研究は、「第1章 研究の目的と方法」「第2章 世界的に注目を集めるエシカルという概念」「第3章 台頭する世界のエシカルブランド」「第4章 エシカルの視点からみた中国の動向」「第5章 <脱成長>の時代に求められるエシカルの視点」「第6章 研究の成果と考察」の全6章から構成されている。

第1章「研究の目的と方法」においては、「研究の背景」「研究の目的」「研究の方法」「先行研究」について論述されている。リサーチ段階でエシカルに関連する7つの領域（エシカル、ソーシャル、サステナブル、思想・哲学、経済・企業、新技術・先端技術、ライフスタイル）を設定するなど、エシカルという概念を、まずホリスティック（包括的）にとらえようとする工夫がなされている。その結果、エシカルという概念の広がり可能性を示唆しており、評価できる。

第2章「世界的に注目を集めるエシカルという概念」においては、エシカルという概念をエシカル発祥の地・イギリスとの関係において考察している。エシカルという言葉が初めて使われたのが、1989年、マンチェスター大学に通う大学生3人が創刊した世界初のエシカル専門誌「エシカルコンシューマー」(ethical consumer)であったこと、1997年、当時のイギリス首相トニー・ブレアが、アフリカ政策の推進に言及して、スピーチでエシカルという言葉を使用したことが、エシカルという概念をさらに広めるきっかけとなったこと、こうした歴史的経緯を取り入れた論文展開はきわめて明快で、評価できる。

第3章「台頭する世界のエシカルブランド」は本研究の中核を成す部分である。現段階で積極的にエシカル戦略を展開している50ブランドを選抜、さらに21ブランドを厳選して、研究の対象としている。21ブランドは<イギリス・グループ>（エシカル発祥の地であり、エシカルブランドが多い）、<欧米グループ>（イギリスを除く）、<日本グループ>の3グループに分類されている。以下は3グループで取り上げられたブランドである。

山本 盤男 殿

平成 29 年 2 月 2 日

審査委員会

学位論文等の審査結果(詳細)

主 査 職 名

氏 名 教授
池 亀 拓 夫



<イギリス・グループ>……①ザ・ボディショップ (化粧品) ②ラッシュ (化粧品) ③ニールズヤードレメディーズ (化粧品) ④ヴィヴィアン・ウエストウッド (ファッション) ⑤キャサリン・ハムネット (ファッション) ⑥ステラ・マッカートニー (ファッション) ⑦マークス&スペンサー (小売業)

<欧米グループ>……①パタゴニア (アウトドア/アメリカ) ②ベン・アンド・ジェリーズ (アイスクリーム/アメリカ) ③アヴェダ (化粧品/アメリカ) ④トムズ・シューズ (靴/アメリカ) ⑤ボルヴィック (飲料水/フランス) ⑥イードウン (ファッション/アイルランド) ⑦カルミナ・カンパス (ファッション/イタリア) ⑧ネスレ (飲食品/スイス)

<日本グループ>……①ピープルツリー (ファッション) ②マザーハウス (バッグ) ③ハスナ (ジュエリー) ④アンドウアメット (バッグ) ⑤インヒールズ (ファッション) ⑥エシカルファッションジャパン (エシカルファッション情報)

先行研究においても、このように世界のエシカルブランドを包括的にとらえたものはほとんどなく、そういう意味において、貴重なデータとなっており、評価できる。

第4章「エシカルの視点からみた中国の動向」においては、まだ「萌芽期」であるといわざるをえない中国のエシカル状況の中で、エシカルの動きをしているブランドやデザイナーたちと環境問題や社会問題に対してジャーナリストティックな視点から警鐘を鳴らしているキーマンたちを紹介している。エシカル運動をものづくりの観点からだけでなく、それを普及させていくためには、メディアやジャーナリストの存在が必要であるという視点は多角的かつ斬新であり、評価できる。

第5章「<脱成長>の時代に求められるエシカルの視点」においては、(1) フランスの思想家セルジュ・ラトゥーシュによって提唱された<脱成長>経済理論、(2) アダム・スミスの二大著作「道徳感情論」「国富論」のうち「道徳感情論」がもつ今日的意味、(3) 「売り手よし、買い手よし、世間よし」という近江商人の「三方よし」の精神、(4) 中国の伝統思想「タオ」と老子の「足るを知る」思想に言及し、エシカルから派生したユニークな視点として、評価できる。

第6章「研究の成果と考察」においては、本研究で行った考察をもとに、今後、どのようなエシカルプロジェクトが可能か、ということについて考察と提案を行っている。万人立は中国に帰国後、引き続き、エシカルの視点からみたデザインのあり方についての研究を進めていきたいと語っている。研究テーマの設定から論文執筆に至るすべてのプロセスにおいて、真摯に取り組んできた万人立の研究姿勢は高く評価される。

以上の観点から、学位論文の審査結果を<合>とする。